

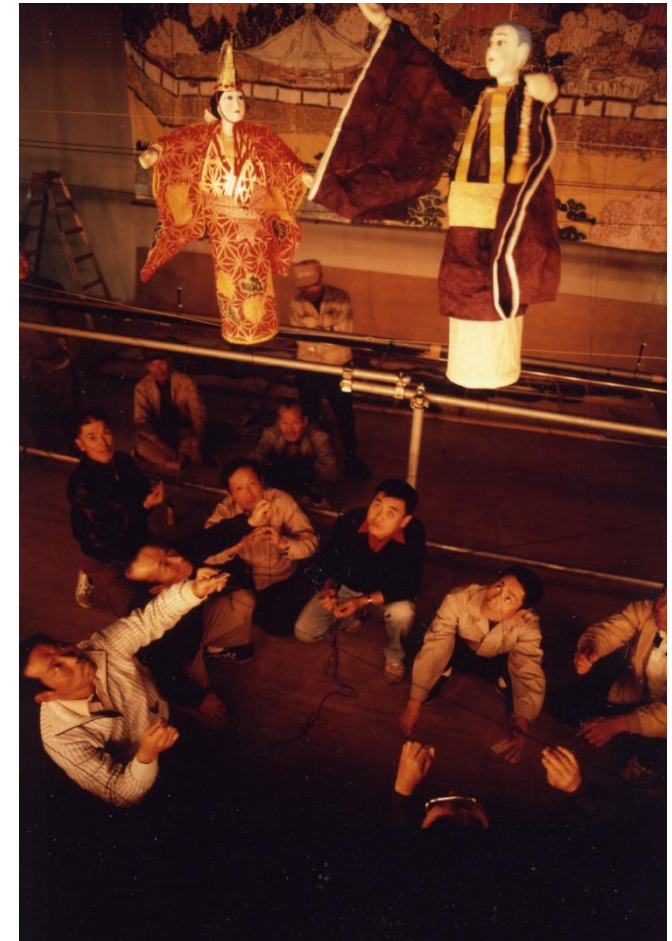
中宿の糸操燈籠人形 **復活** 上演会

-国指定重要無形民俗文化財-

問い合わせ
中宿糸操燈籠人形保存会
TEL 070-6455-1988

中宿糸操燈籠人形の由来

中宿糸操燈籠人形は、江戸時代の明暦2～3年頃に始まったと伝えられる、村の農家の長男だけが演じる門外不出の民俗芸能でした。昭和4年に一度途絶しましたが、昭和25年に人形が民家で発見されたのを機に、昭和28年に保存会が結成され全戸参加で復活公演が諏訪神社で行われました。



中宿糸操燈籠人形の由来

その後、国立劇場・大阪万博・ミュンヘンの人形博物館へ出展され、昭和52年には国の重要無形民俗文化財に指定されました。平成13年の市文化センター公演を最後に、本格公演は中断していましたが、今回、地元中宿の公民館で24年ぶりに上演することになりました。



上演日



※ 雨天の場合は16日（日）に延期

- 上演日 11月15日（土）
第一幕 開場 午後1時
開演 午後2時
- 第二幕 開場 午後4時
開演 午後5時
- 場 所 中宿公民館
（中宿1丁目8番6号）

公民館へのアクセス

- お車でお越しの方
駐車場：群馬県安中総合射撃場
（中宿2003）南側河川敷
※駐車場から徒歩5分程度
- 電車でお越しの方
安中駅から徒歩5分程度



※大変混雑が予想されますが、ご来場の皆様には十分な対応を確保できない場合がございます。地域での上演の性質上、何卒ご理解とご容赦を賜りますようお願い申し上げます。